

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191500040		
法人名	松前さくら苑株式会社		
事業所名	グループホーム 松前さくら苑 1		
所在地	北海道松前郡松前町字大沢 652-13		
自己評価作成日	平成29年2月10日	評価結果市町村受理日	平成29年3月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_6_022_kan=true&JigyosyoCd=0191500040-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年3月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は、国道228号線から少し離れた自然豊かな場所にあり、野鳥や自然木に囲まれた静かな場所にあります。道内唯一の城下町であり、春には250種1万本の桜の木が早咲き、中咲き、遅咲きと楽しませてくれます。隣接に松前温泉があることから桜の季節には、町内外からの入浴客でにぎわいます。松前公園へお花見、藩屋敷の見学、散歩等をし自然の中でゆったりと過ごしています。又、裏山の山菜や、漁港が近いので新鮮な魚介も食する事が出来ます。職員と入居者様と「自然の中でゆったりと楽しく自由にありのまま共に暮らす」を実行しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成19年に開設した「グループホーム松前さくら苑」は、渡島半島西部の道南唯一の城下町で人口は約7,000人余りの温暖な気候の町に開設している。松前町は、町のシンボル松前城と桜の名所として全国的にも有名で、春には沢山の観光客にあふれている。事業所の隣には松前温泉があり、特に桜の季節には町内外からの入浴客で賑わいをみせている。周囲は雑木林や桜の木などに囲まれ、鳥のさえずりも聞こえる自然豊かな中で日々の生活を送っており、平成27年には棟続きに1ユニットを増設している。10年目となった当事業所は地域の方々の参加が多く、納涼祭では一緒に食事を楽しみ、婦人会や民生委員・友人の来訪もあり一緒に「するめちゃん体操」などで楽しく交流し、小学生の来訪や中学生の職場体験などもある。地域の方々からの頂き物も多く、ふくろうの飾り物や座布団、鉢植えの花などがホーム内に飾られており、地域密着型として定着している。管理者と職員は当事業所の「自然の中でゆったりと楽しく自由に、ありのままに共に暮らす」という理念のほかに職員の心得として5項目をホール内に掲示し、唱和をして日々のケアの実践に活かしている。利用者は尊厳のある、そして笑顔のある穏やかな生活を送っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある			○	3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着 型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念が玄関、事務室、ホールに掲示し、理念の唱和を行い実践に取り組んでいる。	事業所の理念の他に職員の心得5項目を掲示している。利用者が地域の中で「自然の中でゆったりと楽しく自由にありのままに共に暮らす」という理念を管理者と職員は常に共有し確認してケアの実践に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	清掃活動や町内会の行事参加、町内の方々の苑外の花植え、手作りの物を頂くなどし、利用者とのふれあいを持つ事が出来た。又、地域の人に声掛けをし、施設のイベントや行事参加をしていただいた。	町内会の行事には積極的に参加し、ホームの納涼会には地域の方々の参加もあり一緒に食事を楽しんでいる。婦人会や友人などの来訪もあり、体操や踊り、歌など楽しく交流している。飾り物や座布団、鉢植えの花や畑の野菜、魚などの頂き物も多く日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内の中学生のインターシップの受け入れ、慰問ボランティアを受け入れ、認知症の方々と接し認知症の理解や支援方法を地域の人々に向けて活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で地域の方々、家族に参加をしてもらい意見、要望等はサービス向上に生かせるよう取り組んでいる。	定期的に開催している。家族・町内会長・中学校校長・役場の担当者の参加があり活発な意見交換がなされ、サービスの向上に活かしている。参加出来なかった家族には毎回議事録を送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは、通達事項はもちろん、他に必要が生じた場合などに連絡を取り合い、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には毎回役場担当者の参加があり、密接な協働関係を築いている。利用者の更新時や退所時の手続きなど常に報告・連絡・相談をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員に対して、身体拘束禁止の行為を理解してもらうために、ケア会議等で話をしている。居室には元々鍵が設置されていない。防犯の為、夜8時から翌朝6時までは玄関の施錠をしている。	入居時に家族に身体拘束禁止に伴う事業所の方針を説明し同意を得ている。職員間でマニュアルを活用して内部研修を行い、全職員の周知徹底を図り共通認識を持ち日々のケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員を身体拘束、虐待予防研修会に参加させている。事業所内、虐待がおきないように注意し職員側のストレスを軽減できるよう話合いの場を設けるようにしている。		

グループホーム 松前さくら苑

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員が権利擁護に関する制度を学ぶ機会や、まだ設けてはいないが、必要があれば活用できるように、学ぶ機会を活用したい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は十分説明し、理解・納得をしたうえで、署名捺印を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や施設を訪問した時、または更新認定の際に、意見、要望を伺っている。	管理者と職員は家族の面会時や運営推進会議などで日頃から気軽に話せるような雰囲気づくりに留意し、会話の中からくみ取っている。家族から出された意見や要望はミーティングで話し合い運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議にて、意見や提案を聞く機会を設け、反映させるように努めている。	管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図り、職員から出された意見やアイディアは職員会議で検討し、柔軟な対応をして運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見を聞き、可能な限り職場環境、条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	可能な限り、町外の研修を受ける機会を確保し、参加できるように努めている。また町内の研修参加も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流の機会は作っていないが、町内行事時の参加活動で交流、研修会の協力をしサービスの質を向上させていくように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用を開始する時点で、本人の言動や行動に注意し、本人の不安や要望を汲み取り安心して生活出来るような信頼関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申し込みがあった時点から、気軽に話すことが出来るような雰囲気づくりをし、家族が困っていることや、不安なこと、要望などを伺い、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用を開始する段階で、情報を共有し、本人と家族が必要としている事を見極め、利用者の支援のあり方を考えながら、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護にならない様に積極的に会話をするようにしている。暮らしを共にする者同士が、楽しく生活出来るように努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状況を家族と共有して、家族と共に利用者を支えて行けるような関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や親類の交流が途切れない様に、訪問、外出、外泊が自由に出来るように支援している。	家族の協力で以前からの馴染みの美容院を利用したり、お墓参りや法事等は家族対応で外出や外泊をしている。親戚や兄弟の来訪もあり、クリスマスカードや年賀状等も職員と一緒にいき、今までの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者が孤立しない様に、利用者同士の関係を把握し、利用者同士が支え合い、楽しく生活出来るような支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて、サービス利用が終了しても、本人、家族の相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや暮らし方の希望、意向の把握の努めているが、困難な場合は、日々の生活状況を見て、ケア会議にて本人本位の検討をしている。	職員は日々のケアの中で常に一人ひとりに関心を持ち、表情・仕草などから把握しケアに活かしている。困難な場合は家族からの情報を得ながら職員全員が共有し、本人本位の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話や家族からの情報から、生活歴を把握する様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子はサービス記録等にて、職員が心身状況の現状を把握できるように努め、共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議でケアのあり方について話し合いをしている。又、本人、家族には介護認定更新時や必要に応じて、意見や要望を聞き、現状に即した介護計画を作成している。	管理者と職員は日々のケアの中での利用者の状態と家族の意向、関係者などの意見をケア会議で話し合い、アセスメントとモニタリングを繰り返し行い、利用者の現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は、個別の生活シートに記載し、職員間で共有しており、介護計画作成に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	買物支援・受診介助、外出の送迎等、本人や家族の要望に柔軟に対応し、本人や家族に満足して頂けるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公共機関を初め、町内会、婦人会やボランティアの方などにより、安全で豊かな生活が出来るように支援している。町内会の方々に月1回体操教室を行ってもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の町立松前病院の訪問診療を受けている。通院希望者や、また、体調に応じて受診が必要となった場合は、受診介助をし適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に本人と家族の意向を確認して病院受診を支援しており、利用者は月1回町立松前病院の往診と看護師による健康管理を受けている。体調の変化が見られ受診が必要な時には職員対応で受診し、結果は家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師資格のある介護職員がおり、職員同士、日々の様子を観察して情報を共有し、医療面などの相談、助言をもらい適切な受診や利用者の健康管理に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者とは訪問診療や体調変化時は病院側へ連絡をし連携を計っている。また、入院時は病院関係者からの情報や相談に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	希望があればターミナルケアも支援してゆくが、医療的なケアが必要である場合のターミナルケアは出来ない事を家族に十分説明している。	入居時に家族には重度化や終末期について事業所としての方針と対応について説明している。医師の判断により医療行為が必要になった場合は本人、家族の意思を随時確認し連携をとりながら取り組んでいる。	事業所としての重度化や看取りに対する指針を明確にした同意書の作成を期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故に備えたマニュアルは備えて対応できるようにしている。救命救急、ADEの講習を受けている、職員もいるが、応急手当や初期段階の定期的訓練は行っていない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災、災害に備えて、消火訓練、避難訓練などを行っている。地域との協力体制も築いている。	年2回、日中と夜間を想定した訓練は地域住民の参加・協力のもとで行っている。備蓄は定期的に確認し常に買い足ししている。町内全域に有線放送があり町内の災害の情報なども迅速に入っており協力体制は出来ている。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人の人格を尊重し、プライドを傷つけないような言葉かけで支援するように注意している。	常に利用者のその人らしい尊厳を大切に考え、援助が必要な時も言葉がけに注意しさりげなくケアをしている。浴室には内側にカーテンが備え付けられており誇りやプライバシーを損ねないように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	分りやすい言葉で簡潔に説明し、利用者の思いや希望を感じとり、自己決定が出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴など、その日をどう過ごすかは本人の希望に合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望、また、本人にあった身だしなみやおしゃれ(染髪・洋服など)が出来るように支援している。理髪は訪問サービスを利用している。		

グループホーム 松前さくら苑

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食事の好みを考慮し、食べやすい形で提供している。共に行うことが出来る利用者は、職員と一緒に準備や食事の片付けを行っている。	利用者や家族の意見を取り入れ献立を決めている。花見や紅葉などドライブの機会には外食も多い。利用者の誕生日には希望を聞き皆で楽しい食事をしている。準備や後片付けも職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者にあった食事量やバランスを考えて提供している。食事量や水分量は1人1人の生活シートに記録し、職員で状況を共有している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、指示見守りや介助により口腔ケアを行っている。又、状況を把握し、歯科訪問診療時に診て貰っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄シートに記録し、排泄パターンを把握している。トイレで排泄出来るように誘導し、出来る限り自立に向けた支援に取り組んでいる。	管理者と職員は利用者の排泄パターンを把握しており表情、目の動きや仕草などからさりげなくトイレ誘導している。家族の意向により夜間のみオムツ使用やポータブルトイレの使用もあり利用者一人ひとりに合わせた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録により排便状況を把握している。便秘については、訪問診療により医師と相談して、個々に合った予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は週2回行っている。個々に入浴日は決まっているが、利用者の体調や希望により変更自由な柔軟な支援を行っている。	週2回入浴を目安にし、本人に合わせて機械浴も利用している。夏には入浴日以外でも利用者の希望に合わせてシャワー浴をしたり音楽をかけたり楽しく入浴が出来る様ように一人ひとりに沿った支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の性格習慣や体調に応じて休憩して頂いている。また、訴えがない場合は、本人の様子を観察して、休息や仮眠をして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は施設管理をし、服薬情報で確認出来るようにしている。服薬に変更があった場合は、その都度職員と情報を共有している。服薬記録簿により、きちんと服薬出来ているか、確認出来るようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割として出来ること、得意として出来ること等、一人ひとりがが生活の中で張りをもち楽しく、気分転換が出来る様な支援を行っている。		

グループホーム 松前さくら苑

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット1)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望により、買い物や散歩などの外出支援に努め、天候の良い日はドライブしたりと楽しく過ごせるような支援を行っている。又、家族との外出や外泊も自由に出来るように支援している。	年間行事としてドライブ等の外出計画はあるが、利用者の希望で隣の温泉まで散歩しながら売店に買い物に行ったりベンチに座ってくつろいだりしている。苑の周りに花を植えたり水やり等出来るだけ外気に触れるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な方は、小遣い程度を自分で管理して頂き、本人や家族の希望により、預り金から自由に使うことが出来るようにしている。管理不可能な方は、施設で管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により、電話の使用は自由に出来るようにしている。家族から電話がかかって来た場合は、本人とお話をして頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内は常に窓からの日が差し込んでいます。清潔を保つために、毎日の掃除は欠かさず行っている。湿度、温度にも気を配り、季節感を持っていたるように施設内に飾り付けをしたりし、居心地よく過ごせるように工夫している。	事業所内は明るく清潔感があり、共有空間にあるソファも落ち着いた感じに配置されている。畳敷の小上りには大きな雑壇が置かれ、壁には小学生の作品もあり季節感あふれる空間になっている。キッチン是对面方式で利用者と職員は常に一緒に居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはテレビがあり、その周りにはソファが置かれ、一緒に見て楽しめるようになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談し、本人が、使い慣れ親しんだ物や好みの者は、自由に持ち込めるように成っている。	居室にはクローゼットが備え付けられており明るくゆったりとしている。利用者一人ひとりの在宅当時の慣れ親しんだ思い出の品や家族の写真などがあり、その人らしく居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、ホールの周りには、手すりが設置しており、トイレ、浴室、各居室は引き戸にし、ナースコールを設置している。又、スプリンクラーを設置しており、安心して生活が出来るようになっている。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191500040		
法人名	松前さくら苑株式会社		
事業所名	グループホーム 松前さくら苑 2		
所在地	北海道松前郡松前町字大沢 652-13		
自己評価作成日	平成29年2月10日	評価結果市町村受理日	平成29年3月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kan=true&JigrosyoCd=0191500040-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年3月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は、国道228号線から少し離れた自然豊かな場所にあり、野鳥や自然木に囲まれた静かな場所にあります。道内唯一の城下町であり、春には250種1万本の桜の木が早咲き、中咲き、遅咲きと楽しませてくれます。隣接に松前温泉があることから桜の季節には、町内外からの入浴客でにぎわいます。松前公園へお花見、藩屋敷の見学、散歩等をし自然の中でゆったりと過ごしています。又、裏山の山菜や、漁港が近いので新鮮な魚介も食する事が出来ます。職員と入居者様と「自然の中でゆったりと楽しく自由にありのまま共に暮らす」を実行しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある			○	3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念が玄関、事務室、ホールに掲示し、理念の唱和を行い実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	清掃活動や町内会の行事参加、町内の方々の苑外の花植え、手作りの物を頂くなどし、利用者とふれあいを持つ事が出来た。又、地域の人に声掛けをし、施設のイベントや行事参加をしていただいた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内の中学生のインターシップの受け入れ、慰問ボランティアを受け入れ、認知症の方々と接し認知症の理解や支援方法を地域の人々に向けて活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で地域の方々、家族に参加をしてもらい意見、要望等はサービス向上に生かせるよう取り組んでいる。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは、通達事項はもちろん、他に必要が生じた場合などに連絡を取り合い、協力関係を築くように取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員に対して、身体拘束禁止の行為を理解してもらうために、ケア会議等で話をしている。居室には元々鍵が設置されていない。防犯の為、夜8時から翌朝6時までには玄関の施錠をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員を身体拘束、虐待予防研修会に参加させている。事業所内、虐待がおきないように注意し職員側のストレスを軽減できるよう話合いの場を設けるようにしている。		

グループホーム 松前さくら苑

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員が権利擁護に関する制度を学ぶ機会や、まだ設けてはいないが、必要があれば活用できるように、学ぶ機会を活用したい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は十分説明し、理解・納得をしたうえで、署名捺印を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や施設を訪問した時、または更新認定の際に、意見、要望を伺っている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議にて、意見や提案を聞く機会を設け、反映させるように努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見を聞き、可能な限り職場環境、条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	可能な限り、町外の研修を受ける機会を確保し、参加できるように努めている。また町内の研修参加も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流の機会は作っていないが、町内行事時の参加活動で交流、研修会の協力をしサービスの質を向上させていくように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用を開始する時点で、本人の言動や行動に注意し、本人の不安や要望を汲み取り安心して生活出来るような信頼関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申し込みがあった時点から、気軽に話すことが出来るような雰囲気づくりをし、家族が困っていることや、不安なこと、要望などを伺い、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用を開始する段階で、情報を共有し、本人と家族が必要としている事を見極め、利用者の支援のあり方を考えながら、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護にならない様に積極的に会話をするようにしている。暮らしを共にする者同士が、楽しく生活出来るように努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状況を家族と共有して、家族と共に利用者を支えて行けるような関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や親類の交流が途切れない様に、訪問、外出、外泊が自由に出来るように支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者が孤立しない様に、利用者同士の関係を把握し、利用者同士が支え合い、楽しく生活出来るような支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて、サービス利用が終了しても、本人、家族の相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや暮らし方の希望、意向の把握の努めているが、困難な場合は、日々の生活状況を見て、ケア会議にて本人本位の検討をしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話や家族からの情報から、生活歴を把握する様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子はサービス記録等にて、職員が心身状況の現状が把握できるように努め、共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議でケアのあり方について話し合いをしている。又、本人、家族には介護認定更新時や必要に応じて、意見や要望を聞き、現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は、個別の生活シートに記載し、職員間で共有しており、介護計画作成に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	買物支援・受診介助、外出の送迎等、本人や家族の要望に柔軟に対応し、本人や家族に満足して頂けるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公共機関を初め、町内会、婦人会やボランティアの方などにより、安全で豊かな生活が出来るように支援している。町内会の方々に月1回体操教室を行ってもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の町立松前病院の訪問診療を受けている。通院希望者や、また、体調に応じて受診が必要となった場合は、受診介助をし適切な医療を受けられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師資格のある介護職員がおり、職員同士、日々の様子を観察して情報を共有し、医療面などの相談、助言をもらい適切な受診や利用者の健康管理に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者とは訪問診療や体調変化時は病院側へ連絡をし連携を計っている。また、入院時は病院関係者からの情報や相談に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	希望があればターミナルケアも支援してゆくが、医療的なケアが必要である場合のターミナルケアは出来ない事を家族に十分説明している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故に備えたマニュアルは備えて対応できるようにしている。救命救急、ADEの講習を受けている、職員もいるが、応急手当や初期段階の定期的訓練は行っていない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災、災害に備えて、消火訓練、避難訓練などを行っている。地域との協力体制も築いている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人の人格を尊重し、プライドを傷つけないような言葉がけで支援するように注意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	分りやすい言葉で簡潔に説明し、利用者の思いや希望を感じとり、自己決定が出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴など、その日をどう過ごすかは本人の希望に合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望、また、本人にあった身だしなみやおしゃれ(染髪・洋服など)が出来るように支援している。理髪は訪問サービスを利用している。		

グループホーム 松前さくら苑

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食事の好みを考慮し、食べやすい形で提供している。共に行うことが出来る利用者は、職員と一緒に準備や食事の片付けを行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者に合った食事量やバランスを考えて提供している。食事量や水分量は1人1人の生活シートに記録し、職員で状況を共有している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、指示見守りや介助により口腔ケアを行っている。又、状況を把握し、歯科訪問診療時に診て貰っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄シートに記録し、排泄パターンを把握している。トイレで排泄出来るように誘導し、出来る限り自立に向けた支援に取り組んでいる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録により排便状況を把握している。便秘については、訪問診療により医師と相談して、個々に合った予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は週2回行っている。個々に入浴日は決まっているが、利用者の体調や希望により変更自由な柔軟な支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の性格習慣や体調に応じて休憩して頂いている。また、訴えがない場合は、本人の様子を観察して、休息や仮眠をして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は施設管理をし、服薬情報で確認出来るようにしている。服薬に変更があった場合は、その都度職員と情報を共有している。服薬記録簿により、きちんと服薬出来ているか、確認出来るようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割として出来ること、得意として出来ること等、一人ひとりがが生活の中で張りをもち楽しく、気分転換が出来る様な支援を行っている。		

グループホーム 松前さくら苑

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ユニット2)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望により、買い物や散歩などの外出支援に努め、天候の良い日はドライブしたりと楽しく過ごせるような支援を行っている。又、家族との外出や外泊も自由に出来るように支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な方は、小遣い程度を自分で管理して頂き、本人や家族の希望により、預り金から自由に使うことが出来るようにしている。管理不可能な方は、施設で管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により、電話の使用は自由に出来るようにしている。家族から電話がかかって来た場合は、本人とお話をして頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内は常に窓からの日が差し込んでいます。清潔を保つために、毎日の掃除は欠かさず行っている。湿度、温度にも気を配り、季節感を持っていたできるように施設内に飾り付けをしたりし、居心地よく過ごせるように工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはテレビがあり、その周りにはソファが置かれ、一緒に見て楽しめるようになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談し、本人が、使い慣れ親しんだ物や好みの者は、自由に持ち込めるように成っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、ホールの周りには、手すりが設置しており、トイレ、浴室、各居室は引き戸にし、ナースコールを設置している。又、スプリンクラーを設置しており、安心して生活が出来るようになっている。		

(別紙4-2)

目標達成計画

事業所名 グループホーム 松前さくら苑

作成日：平成 29年 3月 15日

市町村受理日：平成 29年 3月 16日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	重度化や看取りに対する指針はあるが、明確にしたものを必要と考えられる。	事業所としての重度化や看取りに対する指針を明確にした同意書の作成を行う。	事業所としての重度化や看取りに対する指針を見直し、新たに重度化や看取りに対する指針を作成を行う。又、内容確認が出来るよう同意書の作成をしていく。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。